



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしやうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわ ねん がつ にちほつこう
令和4年9月28日発行

がっこうきやういくもくひやう
学校教育目標

こころゆたかにたくましく、ともに学び合う子どもの育成



ぜんこくがくりよくがくしゅうじやうきやうちやうさ けっか 全国学力学習状況調査の結果より

4月19日、6年生児童を対象に実施されました。今年度は、国語・算数・理科3教科の学力調査と学習に対する姿勢や生活習慣等の調査が実施されました。

結果は、3教科全てにおいて全国や県の正答率を大幅に上回る非常に素晴らしいものでした。学校・家庭・地域が一体となって取り組んできたことが、子ども達の学力向上につながったと考えています。

しかし、全国学力学習状況調査の目的は、他と比べ優劣をつけるということではありません。結果分析をもとに、本校の「強み」「弱み」を明らかにし、今後の授業や家庭での学習、生活の改善に活かしていくことが目的です。是非、この後の分析結果と今後の学校の取組に目を通していただき、子ども達の学力定着と向上及び生活の向上のために、ご協力をいただきたいと思っております。

【三重北小の強み】

- 全ての教科で「無回答率」が非常に低く、ほとんどの児童が問題を最後まで解こうとしています。学びに向かう力がついてきていると言えます。
- 知識・技能に関する項目の正答率が特に高いです。漢字の読み書きや計算等の力がついています。

【国語の弱みと今後の取組】

- 「書くこと」の力が弱いです。問題文から条件に合わせて抜き取り、記述することが苦手です。
- ⇒主語と述語の関係や接続語の使い方を学び直し、作文等で正しく使えるよう取り組みます。
- ・書き手の意図を正確に読み取ることを大切にした授業を行います。

【算数の弱みと今後の取組】

- 答えを求めることができても、そこに至るまでの考え方を説明することが苦手です。
- 割合の問題が苦手です。「割合」と「量」の違いがイメージできていません。
- プログラミング的思考を活用する経験が不足しています。
- 概数を使い、見積もりを出す計算が苦手です。

- ⇒・式の意味を考えたり、説明したりする経験を授業に多く取り入れます。
- ・「割合」「概数」「プログラミング的思考」については、定着に向けて復習の機会を設けます。
- ・授業で学んだことを、自分の言葉で振り返る時間を確保していきます。

【理科の弱みと今後の取組】

- 説明の根拠となる事実を結果から正確に抜き出すことが苦手です。
- 質問の意図と違う答え方をしている児童が多くみられました。
- ⇒・実験結果から考察することに力を入れて授業をします。
- ・実験結果の、どの部分から考えたのか明確にして記述する活動を取り入れます。
- ・実験後に新たな課題を提示し、性質や仕組みについて、より深く継続的に考えさせるような授業を行います。

【学習に対する姿勢や生活習慣等の調査結果より】

- 自分の考えを深めたり、広げたりして、次の学習につなげることができている児童が多くみられます。本校の「学び合い」の授業の成果が表れていると考えられます。
- 地域行事や地域学習による大人とのつながりが、郷土を愛する気持ちにつながっていると考えられます。
- 学校に行くことが楽しいと回答した児童の割合が非常に高いです。しかし、「楽しい」と回答しなかった一部の児童がいることに目を向け、今後も仲間づくりの研修を深めるとともに、いじめの早期発見、早期対応に努めます。
- 長時間にわたって、ゲームをしたり、スマホ・携帯電話でSNSや動画視聴したりする児童の割合が多くなっています。更に、家庭での約束を守れていない児童の割合も多いです。今後、高学年児童を中心に「情報モラル」に関する学習を実施していきます。
- 算数嫌いの子どもの割合が多いです。児童の実態を捉え、授業改善に取り組んでいきます。